

使用説明書

今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。



注意

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

ご使用上の注意

1. 次の方は使用しないでください。

- ①今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ②染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方
- ③皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

2. 使用前のご注意

- ①染毛の2日前(48時間前)には毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。【皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の方法については、同書面内の「皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順」をご覧ください。】
- ②頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髪用の製品です。
- ③眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬液が目に入るおそれがあります。
- ④顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤染毛の前夜1週間はパーマントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

3. 使用時のご注意

- ①薬液は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ②換気の良いところで使用してください。
- ③必ず添付の手袋を着用してください。
- ④染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やすすぐ等で薬液が目に入るおそれがあります。
- ⑤薬液が顔、首筋等につかないようにしてください。薬液がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑥薬液や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診察を受けてください。
- ⑦染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬液をよく洗い流し、すぐに医師の診察を受けてください。
- ⑧染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診察を受けてください。

4. 取り扱い上のご注意

- ①混合した薬液の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。
- ②混合した薬液は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあり危険です。

5. 保管上のご注意

- ①幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ②高温や直射日光をさけて保管してください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順



食品や医薬品などでアレルギー反応をおこす人がいるように、まれにヘアカラーで重いアレルギー反応をおこす人がいます。また、他のアレルギーと同様に過去に何回も異常なく染毛できた方でも、体質の変化などによりかぶれるようになる場合もあります。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は、染毛の2日前(48時間前)に、毎回必ず行ってください。

1. 次のものを準備します。

【当製品の箱に入っているもの】



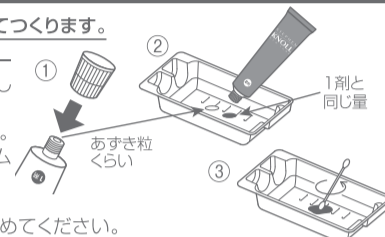
【ご自分で用意していただくもの】



2. テスト用混合クリームをつくります。

テスト用混合クリームは、1剤と2剤を、1対1の割合で混ぜてつくります。

- ①1剤のキャップをはずし、キャップの反対側の突起でチューブの口に穴をあけ、トレーにあずき粒くらいの量を出します。
- ②2剤のキャップをはずし、1剤と同じ量をトレーに出します。
- ③1剤と2剤を、綿棒でよく混ぜ合わせてテスト用混合クリームをつくります。



※ご使用後すぐに、それぞれの容器のキャップをきちんとしめてください。

3. テスト用混合クリームをぬります。

テスト用混合クリームができましたら、綿棒で腕の内側に10円硬貨大にうすくぬり、自然に乾燥させます。(トレーに残ったテスト用混合クリームは、すぐに洗い流して捨ててください。)

- ※テスト用混合クリームをぬった部分が乾燥するまで、衣服につかないようご注意ください。テスト用混合クリームが衣服などにつくと落ちません。
- ※30分たっても乾かない場合は、ティッシュペーパーなどで軽くふきとってください。



4. そのまま触れずに48時間放置します。(時間を必ず守ってください。)

テスト用混合クリームをぬったところは絆創膏等で覆わないでください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果がわかるには少なくとも48時間必要です。

※皮膚アレルギー試験(パッチテスト)をした当日は、なるべく入浴は避けてください。やむなく入浴される場合は、皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の部分にぬらしたり、こすったりしないようご注意ください。

5. テスト部位の観察はテスト用混合クリーム塗布後30分位および48時間後の2回必ず行ってください。

塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激などの皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト用混合クリームを洗い落として染毛しないでください。

※皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、万一異常が生じた場合は医師の診察を受けてください。また、肌の状態や商品については当社のお客相談窓口にご相談ください。

6. 48時間経過後、異常がなければ直ちに染毛してください。

※皮膚アレルギー試験(パッチテスト)をした部分は、テスト終了後や入浴時によく洗ってください。

※皮膚アレルギー試験(パッチテスト)をした部分は、茶色などに着色しますが、通常の入浴によって数日で落ちていきます。

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪の生え際・顔・首筋などにかゆみ・はれ・赤み・ブツブツなどの症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかずに、又はかぶれの症状が軽いため使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

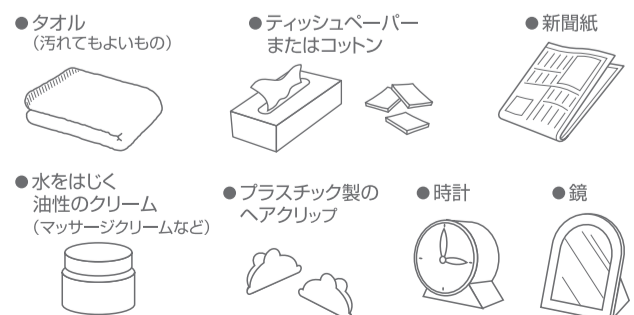
髪を染める前の準備 (シャンプーは染める前日までにすませてください。)

必要なもの

【当製品の箱に入っているもの】



【ご自分で用意していただくもの】



髪のお手入れ

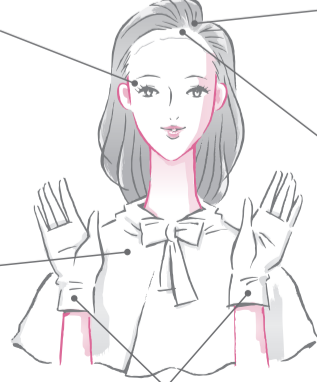
◇シャンプーは、髪を染める前日までにすませてください。髪がとくに汚れている場合や、整髪料を多く使用しているとき、一時着色料(カラスプレーなど)や金属粉などが髪についているときは、頭皮を傷つけないように注意し、十分に洗い流してください。

◇やむなく当日シャンプーをする場合は、髪をよく乾かしてください。(髪がぬれていると混合クリームが目に入ったり、染毛効果が弱まる場合があります。)

身じたく

汚れてもさしつかえのない前開きの衣服に着替え、衣類をケープまたはタオルでおおいます。また、床などが汚れないように新聞紙を敷いてください。(混合クリームがつくと落ちませんので、ご注意ください。もしつけたときは、直ちに水でぬらしたティッシュペーパーなどでふきとってください。)

- ①メガネ・コンタクトレンズ・イヤリング・ピアス・ネックレス・指輪・ヘアピンなどは、はずしてください。(染毛中は、金属製のクシやヘアクリップなどは使わないでください。)



- ②ケープをかけます。

- ③頭皮を傷つけないように髪をとかし、髪を分けやすくしておきます。(髪を分けてヘアクリップでとめておくと、ムラなくきれいに付けることができます。)

- ④肌を保護し、混合クリームがついても落ちやすくするために、耳のうしろや髪のはえざわ(ひたい・えりあしなど)に油性のクリームを塗ります。 ※クリームが髪につくと染毛効果が弱まりますので、ご注意ください。

- ⑤手袋をはめます。

その他のご注意

◇幼児には使用しないでください。◇本品は1剤と2剤のご必要量を混ぜ合わせてご使用ください。◇薬液が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。◇次のような場合は、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。 ※髪がぬれているとき。(運動などで多量の汗をかいたとき、水泳、雨にぬれたとき、洗髪後など。) ※育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髪用品を多量に使用したとき。◇公衆浴場などでのご使用は、汚れなどで周囲の方の迷惑にもなりますので、ご注意ください。◇染毛前の髪色、明るさ、白髪の量、髪質、髪の傷み具合、染毛時の室温、放置時間などによって、仕上がりの色調が変わることがあります。◇ヘアマニキュア、ヘアカラーで暗く染めた髪を明るくするのは困難です。また、ヘアマニキュアやヘアカラーなどで染めて、色味が残っている状態では、仕上がりの色調が変わることがあります。

裏面も必ずお読みください。

ヘアカラー使用手順

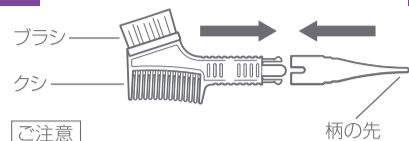
髪を染める前のご注意

- ◇**毎回必ず**表面に記載した手順に沿って**皮膚アレルギー試験(パッチテスト)**を行ってください。
- ◇「髪を染める前の準備」をよくお読みになってから、お使いください。
- ◇寒いところでは染まりにくく1剤と2剤が混ざりにくいので、室温が18℃以上の場所でお使いください。また、1剤や2剤が冷えているときは、暖かい部屋に1時間くらい置き、室温に戻してからお使いください。
- ◇乾いた髪に使用し、入浴中の染毛は避けてください。

ご使用前に、表面を必ずお読みください。★1箱で、セミロングくらいの長さまで染めることができます。

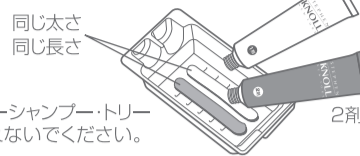
1 染毛する直前に混合クリームをつくります。(混合クリームの色は、仕上がりの色とは異なります。)

1 コームブラシを用意します。



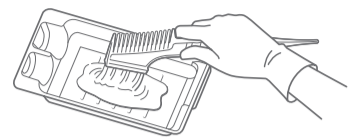
◇注意
◇しっかり差し込んでください。

2 1剤と2剤をトレーの目盛りを使って、必要な量だけ同量ずつトレーの中に出します。



◇注意
◇アフターカラーシャンプー・トリートメントは入れないでください。

3 ブラシの部分でよく混ぜ合わせます。



◇注意 ◇混合後、40分以上たつと染毛効果が弱くなりますので、直ちに染毛してください。

◇混合クリームと仕上がりの色は異なります。徐々に紫色や茶褐色に変わっても、仕上がりの色調に影響はありません。

◇まれに、1剤のクリームの色が部分的に変化している場合がありますが、染め上がりに影響はありません。そのままお使いください。

◇手・指・爪の染まりを防ぐため、必ず付属の手袋をお使いください。

◇チューブに残ったクリームは、次回お使いいただけます。ご使用後は、すぐにキャップをしっかりとめてください。その際、1剤と2剤のキャップを間違えないでください。

2 乾いた髪に混合クリームをつけます。(目に入らないよう、特にご注意ください。また、混合クリームが頭皮になるべくつかないようにご注意ください。)

髪全体を染める方法

15分を目安におこなってください。

1 髪の前半分につけます。

◇コームブラシの柄の先で髪を分けとりながら、はえざわ・分け目・前髪など、白髪の目立つ部分からたっぷりつけてください。

①ブラシに混合クリームをとり、髪の分け目の根もとから毛先に向かってつけます。

②2~3cmはなして次の分け目をつくりながら、①を繰り返します。



ワンポイントアドバイス

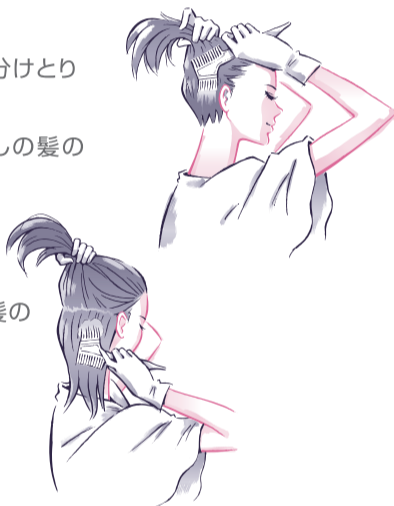
◇はえざわは、ブラシを寝かせ、混合クリームをのせるようにつけましょう。

2 髪の後半分につけます。

◇えりあしから頭頂部に向かって、髪を分けとりながらつけてください。

①ブラシに混合クリームをとり、えりあしの髪の根もとから毛先に向かってつけます。

②頭頂部寄りに髪を少しずつ分けとり、髪の根もとから毛先に向かってつけます。



3 髪全体になじませます。

◇クシの部分でやさしくとかし、髪全体にムラなくのばします。

◇注意

◇クシで頭皮や髪を傷めないようにしてください。

ワンポイントアドバイス

◇白髪が気になる部分には、混合クリームをたっぷりのせましょう。



4 25分くらい放置します。

◇太くて硬い髪の方、白髪の多い方は、放置時間を5~10分長くしてください。
◇細くてやわらかい髪の方、傷んだ髪の方は、放置時間を5分くらい短くしてください。

◇注意

◇実際の染め上がりの色は、染毛前の髪色、髪質などによって異なります。白髪の量が多めの方はパッケージの写真より明るめに、少なめの方は暗めに仕上がります。

◇残った混合クリームは再使用できません。すぐに洗い流して捨ててください。

放置時間 25分

新しくのびた部分を染める方法(リタッチ)

15分を目安におこなってください。

1 新しくのびた根もとの部分にだけ混合クリームをつけます。

◇ブラシに混合クリームをとり、コームブラシの柄の先で髪を分けとりながら、はえざわ・分け目・前髪など、白髪の目立つ部分からたっぷりつけてください。

◇注意

◇傷んだ毛先は、暗く染まる場合がありますので、最初につけないでください。

◇混合クリームが肌についたときは、水でぬらしたティッシュペーパーなどですぐにふきとるか、洗い流してください。落ちにくい場合は、洗顔石けんなどでやさしく洗い流してください。目に入らないよう充分にご注意ください。

放置時間 15分

2 15分くらい放置します。

5分を目安におこなってください。

3 残りの混合クリームを根もと以外の髪につけ、クシの部分で髪全体にムラなくのばします。

◇注意

◇クシで頭皮や髪を傷めないようにしてください。

放置時間 5分

4 髪全体が均一な色になるまで、5分くらい放置します。

◇注意

◇左の「髪全体を染める方法」4のご注意をご参照ください。

白髪の目立つ部分だけを染める方法

1 染めたい部分の白髪の根もとに、混合クリームをたっぷりつけます。

2 さらに、根もとから毛先に向かって混合クリームをつけます。

3 つけ終えたあと、クシの部分でよくなじませます。

4 20~30分間そのまま放置します。

3 髪をよくすすぎ、付属のアフターカラーシャンプー・トリートメントで仕上げ、よく乾かします。

付属のアフターカラーシャンプー・トリートメントは、染めたての美しい髪色をキープし、指どりのよい髪にみちびきます。必ずお使いください。

1 手袋をはめたまま、ヘアカラーの色が出なくなるまで、ぬるま湯でよくすすぎます。

◇注意

◇すすぎ液が目に入らないよう、目をしっかり閉じてすすいでください。



2 アフターカラーシャンプーでいねいに洗います。(2度洗いをおすすめします。)

3 シャンプー後軽く水気をきり、アフターカラートリートメントを髪になじませてからすすぎます。(2~3分おいてからすすぐとより効果的です。)

4 汚れてもさしつかえないタオルで水気をふきとり、髪をよく乾かしてください。

◇注意

◇髪は充分にすすぎ、よく乾かしてください。不十分な場合、衣類・帽子・枕カバーなどに色移りすることがあります。

次回からのご使用に際して

- ◇チューブに残ったクリームは、次回お使いいただけます。1剤と2剤のキャップを間違えないようしっかりとめ、高温・日のあたる場所を避け、幼児の手の届かない場所に保管してください。
- ◇トレー・コームブラシ・手袋は、石けんなどでよく洗い、よく乾かしてから保管してください。
- ◇ヘアカラー(ヘアマニキュアは除く)・ブリーチを使用する場合や、パーマをおかけになる場合は、1週間以上間隔をあけてください。
- ◇シャンプー・トリートメントは1回使いきりです。次回からは、ステイブソルのカラーケアシリーズのご使用をおすすめします。
- ◇まれに、1剤のクリームの色が部分的に変化している場合がありますが、染め上がりに影響はありません。そのままお使いください。